



私には 夢がある。

松坂まさおの政策と課題

アイ ハブ ア ドリーム。私には夢がある。キング牧師の有名なフレーズとして、誰もが口ずさむ。先のオバマさんの「イエス ウィ キヤン」の時、再度脚光を浴びた言葉だ。

「松坂も夢を語れ！」と言われて、キング牧師の演説(1963)を、じっくり読んでみた。

キング牧師の夢は、自己実現の夢ではなく、

一人ひとりが夢を描ける社会の実現という夢、夢のための夢だ。そしてキング牧師の言葉を聞く時、差別の無い平等な社会の向こうに一人ひとりが思い思いの『夢』を実現できそうな気がするのだ。I have a dream. いい言葉だ。

おそれおおいですが、キング牧師の夢はまさに松坂の夢であります。

正直がいちばん！ Honesty is the best policy.

「正直がいちばん」を英語で探したら、Honesty is the best policy. と出てきました。ポリシーは「政策」と訳せますのでう一む、政策なのだ！

普通この英語は「正直は最大の武器である。」と訳されているのだけれど、ケンカじゃないから武器とは言いたくない。

そんなこんなで松坂の政策は『正直がいちばん!』だ。

夢を実現するために、『正直』が果たして政策と言えるのだろうかと思われるかたもいらっしゃるかもしれません。

全ての政策は信頼されなければ実現しません。信頼を得るには『正直』がいちばんなのです。

役所や議会の常識は市民の常識とかけ離れていて、市民感覚の松坂の考え方は議会においては最初しばしば非常識扱いを受けました。

しかし、8年かけて、松坂とは立場の違う議員さんたちからも「松坂はウソだけはつかない正直なヤツだ。」と言われるようになりました。あと一步です！

政治家は実業家でも発明家でもありません。奇抜なアイデアはありません。誰にも機会が平等に与えられ、特に困った時に助けてくれる社会環境=『誰もが夢を持てる社会』を作ることが目的です。当たり前の合理的な実現可能な方法をとるだけです。

重要なことは『情報共有』です。正確な正しい情報を、きちんと理解していれば、その対応策はおのずから見えてきます。

原子力発電に対する正しい情報が共有されていれば、日本のエネルギー政策はこんなに間違った方向にはならなかつたはずです。

その『情報発信』の要が『正直』です。権威付けやプライドは不要です。誰にでも理解できる分かりやすい言葉で、正直に伝えられなければなりません。

情報を受け取る際も『知ったかぶり』はいけません。分からぬ時は素直に認める謙虚さと理解できるまで聞く姿勢が必要です。今日も松坂は市職員をつかまえて「ここが分からない。」を繰り返しています。そこから見えてくる真実があるので。